

たけの子を選んだ理由

NPO法人
青空保育たけの子

そうたは三歳になってまもなく、たけのこに通い始めました。

たけのこを選んだ理由を一つあげると、少人数というのがあります。

動物園に行ったとき、幼稚園生の団体がいました。

ある男の子がペンギンに夢中になっていると、先生が「後ろの子が進めないよ。止まっていると迷惑になるから進んで」と注意を促しました。二人の先生で何十人もの子供を見ているので、その子のペースに合わせるというのは不可能です。

仕方がないと思いつつも、興味を持って観察したいもの、他人の迷惑になる。つなげてしまうのはどうなんだろうと思いました。



私自身、自分がやりたいと思ったことが他人の迷惑になるのではないかと恐れたときがあったからです。なのでそうたには、自分の好きなこと、興味を持ったものをとことんできる環境を用意したいと考えました。

たけのこでそうたは、虫取りや水遊びやハンターごっこや積み木遊びなど、たくさんのもに夢中になりました。

怒ったり泣いたり拗ねたりふざけたり笑ったり、感情もたくさん動きました。

別れと出会いもたくさん経験しました。

安定した環境ではなかった部分もありましたが、かえってそれが特定の環境や人にこだわることなく、今いる自分の環境で過ごすたくましさ育てたと思います。

少人数だと協調性が身につかないのでは？と不安に思う人がいるかもしれませんが、たけのこは子供や地

域の人々を含めた大人の出入りがあります。そうたの成長を見てみると、言葉遣いが乱暴なときもありましたが、相手の立場に立っていつのまにか考えられるようになっていきます。押しつけることなく、自分で相手はどう思うだろう？と考えられるようになっていきます。

たけのこから帰って来て「本当はもっと食べたかったんだけど、〇〇くんにあげたんだ」と言ってみたり。無理に我慢するのではなく、折り合いをつけた人間関係が育ちました。

感情をコントロールできるようになるまで、スムーズにきたわけではなりません。信じて見守ってくださいました辺見さん。そしてスタッフの皆様、ありがとうございました。たくさんの思い出をありがとうございます。
須藤美香子

